

野菜における台風後の病害防除情報

平成28年10月4日
愛知県農業総合試験場
環境基盤研究部病害虫防除室

1 台風後の注意事項

発芽・定植後の露地野菜では、台風により植物体の葉や地際部が損傷を受けた場合、その傷口から病原菌が侵入するため、病害が発生しやすくなります。アブラナ科野菜類では黒腐病、黒斑細菌病や軟腐病などの細菌による病害、あるいはべと病のように多湿によってまん延しやすい病害の発生量が多くなります。イチゴでは、特にビニル被覆前の土耕栽培で炭疽病などの発生量が多くなります。

2 対策

- 冠水したほ場などでは、過湿や酸素不足による根傷みから生育不良が起こりやすいので、速やかにほ場の排水を図りましょう。
- 病害の発生を抑制するために、表を参考に農薬を散布しましょう。散布にあたっては、植物体に付いた泥を洗い流すように丁寧に散布しましょう。特に地際部には注意してください。
- 害虫による食害痕は細菌による病害の発生を助長するので、害虫の発生がある場合は、殺虫剤も散布しましょう。

3 使用できる農薬の例

作物名	農薬名	成分1	FRAC	成分2	FRAC	黒腐病	黒斑細菌病	軟腐病	その他	備考
キャベツ	アグレプト水和剤	ストレプトマイシン	25			○				収穫14日前までに使用
	カスミンボルドー	カスガマイシン	24	銅	M1	○	○	○		高温時、幼苗時は薬害がやすい。クレフロンを加用する 収穫7日前までに使用
	カセット水和剤	オキシリニック酸	31	カスガマイシン	24	○	○	○		収穫7日前までに使用
	スターナ水和剤	オキシリニック酸	31				○	○		収穫7日前までに使用
	バリダシン液剤5	バリダマイシン	U18			○		○	株腐病	収穫7日前までに使用

作物名	農薬名	成分1	FRAC	成分2	FRAC	黒腐病	黒斑細菌病	軟腐病	その他	備考
はくさい	アグリマイシン-100	オキシテトラサイクリン	41	ストレプトマイシン	25		○	○		収穫14日前までに使用
	アグレプト液剤	ストレプトマイシン	25					○		収穫14日前までに使用
	アタッキン水和剤	ストレプトマイシン	25	チオファネートメチル	1			○	白斑病	収穫14日前までに使用
	カセット水和剤	オキシリニック酸	31	カスガマイシン	24		○	○		収穫21日前までに使用
	スターナ水和剤	オキシリニック酸	31				○	○		収穫7日前までに使用
	ナレート水和剤	オキシリニック酸	31	有機銅	M1			○	黒斑病, 白斑病, べと病	収穫30日前までに使用
	バリダシン液剤5	バリダマイシン	U18				○	○		収穫3日前までに使用

作物名	農薬名	成分1	FRAC	成分2	FRAC	黒斑細菌病	軟腐病	その他	備考
だいこん	カスミンボルドー／ 銅パターシ水中和剤	カスガマイシン	24	銅	M1	○	○	ワッカ症	高温時、幼苗時は薬害がでやすい。クレフノンを加用する 収穫14日前までに使用
	カセット水中和剤	オキシリニック酸	31	カスガマイシン	24	○	○		収穫14日前までに使用
	スターナ水中和剤	オキシリニック酸	31				○		収穫14日前までに使用
	ナレート水中和剤	オキシリニック酸	31	有機銅	M1		○		収穫21日前までに使用
	バリダシン液剤5	バリダマイシン	U18				○		収穫21日前までに使用
	マイコシールド	オキシテトラサイクリン	41				○		収穫14日前までに使用
	マテリーナ水中和剤	オキシリニック酸	31	ストレプトマイシン	25		○		収穫30日前までに使用

作物名	農薬名	成分1	FRAC	成分2	FRAC	軟腐病	斑点細菌病	黒葉枯病	備考
にんじん	カスミンボルドー／ 銅パターシ水中和剤	カスガマイシン	24	銅	M1	○	○	○	収穫14日前までに使用
	スターナ水中和剤	オキシリニック酸	31			○	○		収穫7日前までに使用

作物名	農薬通称	成分1	FRAC	成分2	FRAC	炭疽病	疫病	その他	備考
いちご	アミスター20フロアブル	アゾキシストロピン	11			○		うどんこ病, 灰色かび病	
	シグナムWDG	ピラクロストロピン	11	ボスカリド	7	○		うどんこ病, 灰色かび病	
	ベルコートフロアブル	イミノクタジンアルベシル酸塩	M7			○		うどんこ病, 灰色かび病	
	ランマンフロアブル	シアゾファミド	21				○		土壌かん注 収穫30日前までに使用
	レーバスフロアブル	マンジプロバミド	40				○		

FRACはFRACコードを表し、殺菌剤の作用機構による分類を示す。

FRACコードの詳細は、<http://www.jfrac.com/fracコード表/> を参照する。

薬剤の使用に当たっては、使用時期などラベルの表示事項を守るとともに、他の作物や周辺環境への飛散防止に努める。